



> INTRODUCTION

はじめに

12.65%

参考データ:厚生労働省「令和2年度雇用機会均等基本調査」

この数字は、令和2年度に厚生労働省が発表した「男性の育児休業取得率」です。
過去最高値となったものの、政府が目標として掲げていた13%には届かず、
女性の取得率81.6%との差も大きく開いています。

男性の育児休業取得がなかなか進まない背景には、
私たちが持つ「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」が
影響しているといわれています。

「男性が育休を取るなんて、仕事への意欲が足りないなあ」

「子どもに何かあった時、仕事を休むのは女性だよな」

…つい、こんな風に考えてしまうこと、ありませんか？

多様化が進む今、こうした思い込みにとらわれず暮らしや働き方をアップデートすることが
毎日に笑顔をもたらすカギになると、私たちは考えています。

今回のスマイルシェアリングブックでは、「誰もが働きやすい環境づくり」に力を入れる
札幌市内の企業をピックアップし、育児休業を取得した男性たちにもお話を伺ったほか、
専門家の方々にアドバイスをいただきました。

これからの働き方を、私たちと一緒に考えてみませんか？

> CONTENTS

目次

01	はじめに	P 01-02
02	企業・ロールモデルの紹介	
	プロテック株式会社	P 03-04
	株式会社アークス	P 05-06
	社会医療法人北海道循環器病院	P 07-08
	北海道放送株式会社(HBC)	P 09-10
	株式会社クリーン☆アップ	P 11
03	専門家からのアドバイス	
	「スマイルシェア」を邪魔するアンコンシャス・バイアス／キャリアコンサルタント 朝生 容子 さん	P 12
	働き方改革は、生き方改革／ファザーリング・ジャパン北海道 共同代表 伊藤 新 さん	P 13
04	おわりに／「ワークライフバランス診断シート・コンセプトシート」	P 14

私たちの思い込み（アンコンシャス・バイアス）について

男性は仕事をして家計を支えるべきだ

男性 50.3% / 女性 47.1%

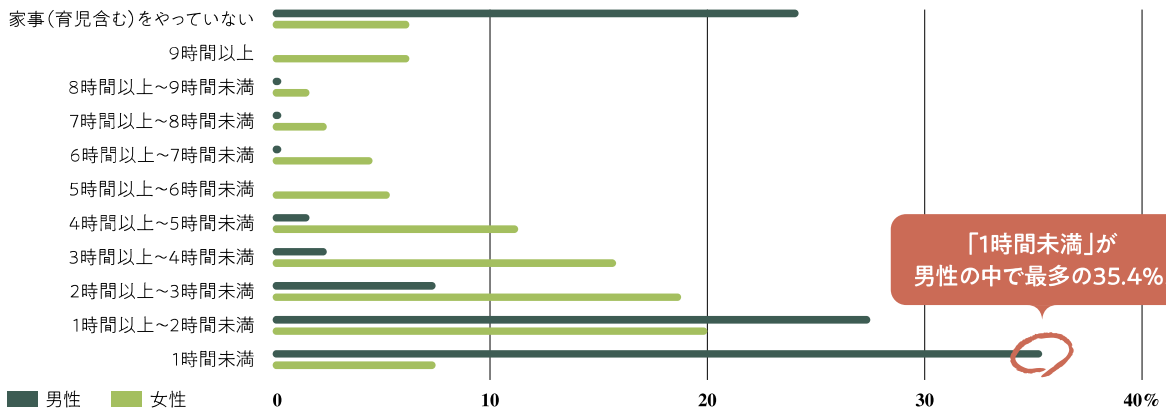
育児期間中の女性は
重要な仕事を担当すべきでない

男性 31.8% / 女性 30.7%

※内閣府「令和3年度 性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査研究」

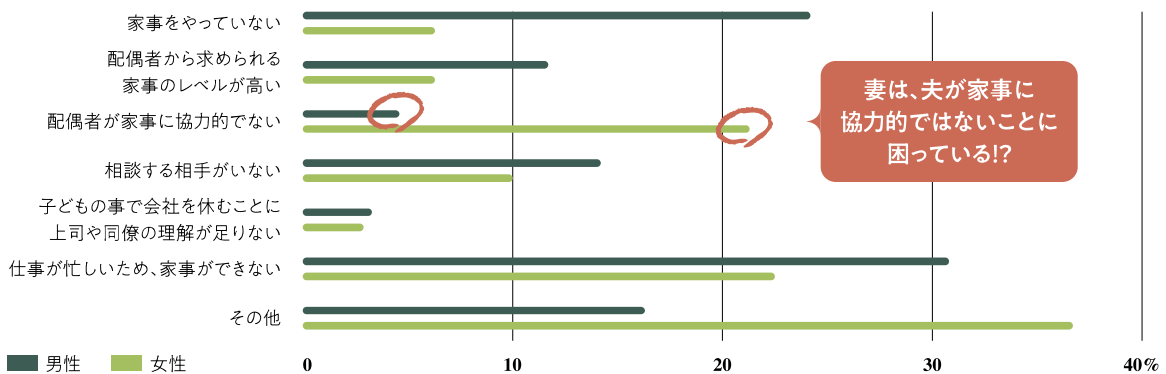
私たちの家事育児のリアルな実態

あなたは一日あたりどのくらい家事（育児含む）に時間をかけていますか？（札幌市調査）



男性は「1時間未満」が全体の35.4%で最多。「家事(育児を含む)をやっていない」を加えると、59.6%の男性が1時間も家事をしていない一方、女性は86.2%の人が1時間以上家事に時間をかけています。

あなたが家事において困っていることは何ですか？



すべての項目のなかで最も男女差が顕著だったのは「配偶者が家事に協力的ではない」で、男性は4.6パーセントだったのに対し、女性は21.3パーセント。最も男女での答えにギャップがありました。

※札幌市「令和2年度「家事参加に関する意識」に関するアンケート」